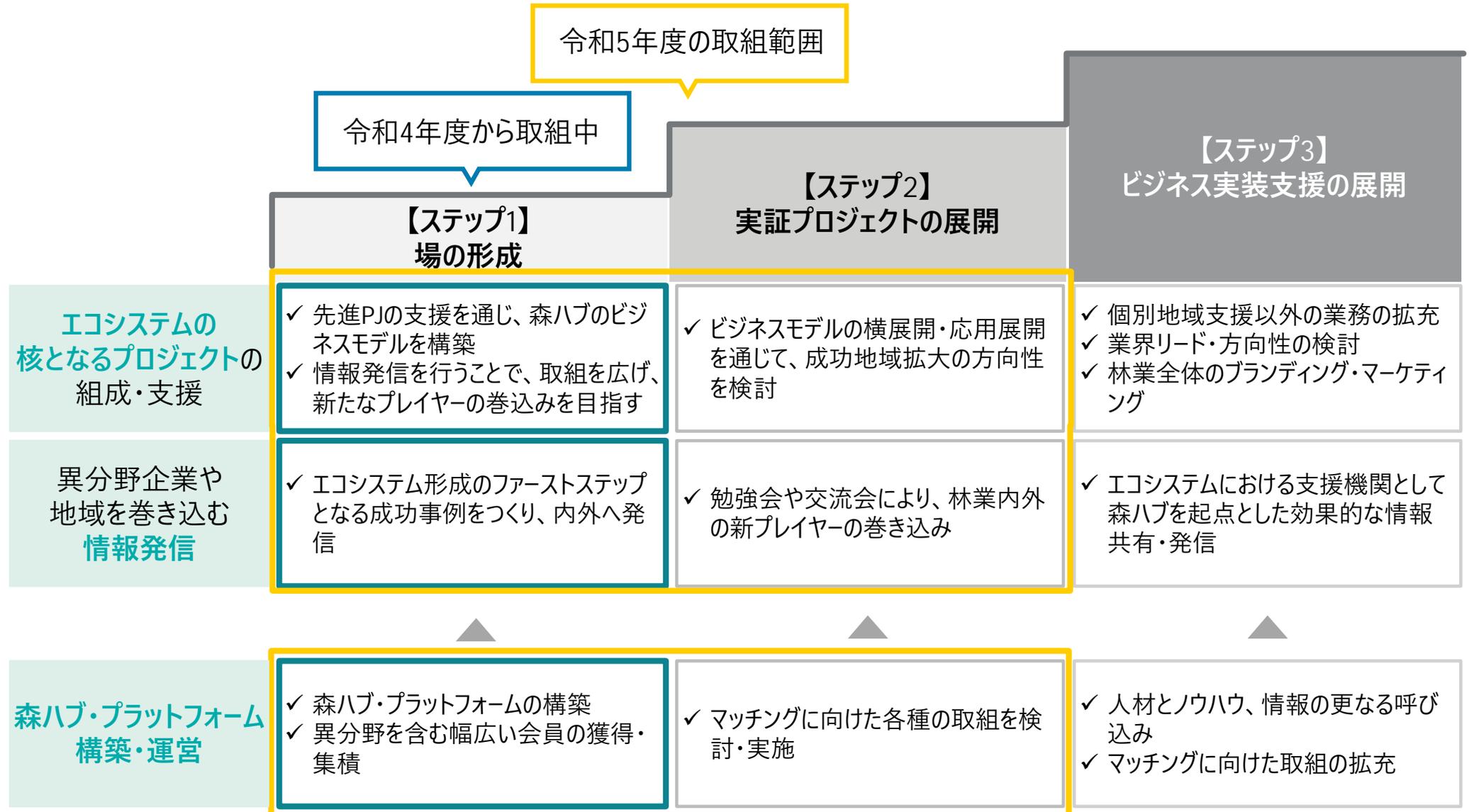


令和5年度林業イノベーションハブ構築事業 事業概要

1. 令和5年度の実施範囲

森ハブ3年目の取り組みとして、核となるプロジェクトの支援を通じて森ハブ支援体制を構築するとともに、プラットフォームを構築して林業内外のプレイヤーが集う場の形成を図ります

業務実施方針





林業イノベーションハブセンター（森ハブ）とは MORI-HUB

- 『林業イノベーション現場実装推進プログラム』を着実に進めるため、「林業イノベーションハブセンター（森ハブ）」をR3に設置。
- R3から、林業イノベーションに係る課題・技術情報の整備、林業イノベーションに必要な支援機能の検討等を実施。
- R5は、林業イノベーションの創出を支援するために、「森ハブ・プラットフォーム」の構築・運営、地域へのコーディネータ派遣に着手。

森ハブ

R3～ 調査・方策検討機能

- 異分野を含む先進技術を調査し、林業課題を8分類35項目に、新技術を86項目に拡充
- 新技術の普及状況・課題等を整理、2025年までのタイムラインを策定
- 林業イノベーションに関する支援ニーズ調査等を踏まえ、必要な支援機能を検討

専門委員会

- 調査結果等を基に意見・提案聴取

アドバイザーコミッティ

機械開発分科会 デジタル分科会 etc.

<令和5年度アドバイザーコミッティ委員>

泉清久（元和歌山県農林水産部森林・林業局長）
 坂井貴行（神戸大学バリエーションスクール教授）
 柴田君也（株式会社柴田産業代表取締役）
 立花敏（筑波大学生命環境系准教授）
 見山謙一郎（事業構想大学院大学特任教授）
 宮本義昭（株式会社パルステクノロジー代表取締役社長）

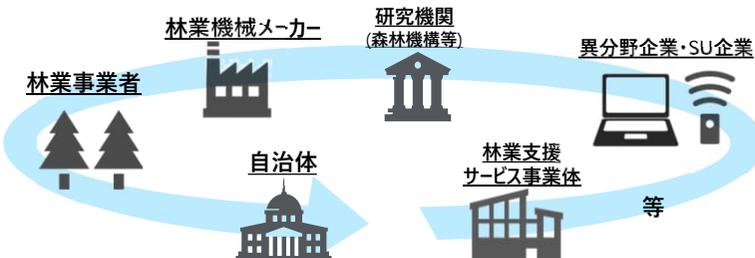
活用

- 「林業イノベーション現場実装推進プログラム」をアップデート(令和4年7月)
- 林業機械等の開発支援事業に活用 等

R5～ マッチング・プロジェクト支援機能

森ハブ・プラットフォーム

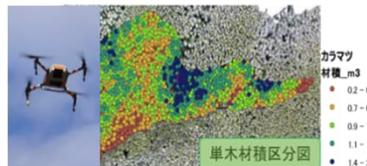
- 様々なプレイヤーが参画するプラットフォームを構築、異分野からも参画を呼び込み。事業者間の情報交換・交流等を促進



- 林業現場が抱える課題・技術ニーズ 異分野企業・SU企業等が有する強み・新技術 } の共有
- 事業者間のマッチング・協業体制の構築
- 新たな林業機械や林業支援サービス等の創出・拡大、現場へ普及・定着



自動走行フォークリフト（開発中）



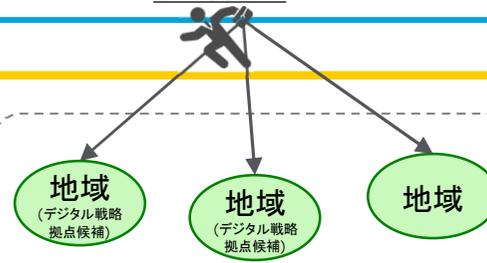
ドローンを活用した資源情報解析サービス

地域へのコーディネータ派遣



- 地域のニーズを踏まえて、コーディネータを派遣、コーディネータの活動を後方支援
- 地域の進展状況を把握・評価する「チェックリスト」を作成し、横展開を推進

コーディネーター



- 各地域の状況を踏まえ、林業のデジタル化やイノベーションの推進を支援

先行事例、チェックリストにより横展開



今年度は5つのテーマで事業を推進し、専門委員会では主にテーマ1 新技術・テーマ4 森ハブ支援体制構築・テーマ5 プラットフォーム構築に関してご助言いただきます

令和5年度事業概要

専門委員会 で報告・ ご助言いた だく範囲	テーマ1 新技術	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 昨年度成果物である技術リスト（令和5年3月15日時点版）に記載のない新たな技術について、国内外・異分野の情報ソースよりデスクトップ調査を行い、新技術の追加を検討する ▶ 「テーマ2：機械開発」、「テーマ3：デジタル」及び「テーマ4：森ハブ支援体制構築」で調査・分析した情報を踏まえ、技術リストの記載について見直しを検討する
	テーマ4 森ハブ支援体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 昨年度選定した森ハブモデル事業実施地域にコーディネーターを派遣し、伴走支援を行い成功事例を創出する ▶ 林業イノベーションの各種取り組みについて、地域エコシステムの成熟度を測る指標およびチェックリストを作成する
	テーマ5 森ハブ・プラットフォーム構築	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 林業・異分野を含め関係者が参画できる林業イノベーション推進に向けたプラットフォームを構築する ▶ プラットフォームに登録いただいた会員を対象に地域のニーズや事業者のシーズについて調査を行い、課題・ニーズを整理し、マッチングによる新技術・新製品の普及、新たなビジネス・製品開発プロジェクト等の創出に向けた取り組みを行う
分科会で 検討する範囲 ※専門委員会 には実施結果を 報告	テーマ2 機械開発	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 必要に応じて分科会を開催し、昨年度成果物「林業機械の自動化・遠隔操作化に向けて」の修正や附属ページの作成を行う
	テーマ3 デジタル	<ul style="list-style-type: none"> ▶ デジタル林業戦略拠点構築推進事業の採択地域（北海道・静岡・鳥取）にコーディネーターを派遣し、伴走支援を行う ▶ デジタル分科会を開催し、デジタル林業戦略拠点の進捗管理や計画に対する助言のほか、地域におけるデジタル化の進捗度合いを測るチェックリストについて、協議・策定を行い、横展開に向けた検討を進める

2. 専門委員会の実施概要

専門委員会では、昨年に引き続きイノベーション推進のための先進技術方策等の検討に関して、専門的・分野横断的・俯瞰的知見からご助言いただくことを想定しております

専門委員会の実施概要

専門委員会の役割・意義

- イノベーション推進のための先進技術方策等の検討に関して、専門的・分野横断的・俯瞰的知見から助言・支援を行う
- 諮問機関として実施事項の評価・検討を行い、事業の方向性の調整等を行う

実施内容・活動計画

- 主に「**テーマ1：新技術**」及び「**テーマ4：森ハブ支援体制構築**」で実施した調査・分析の結果について精査し、方向性等を取りまとめる。また、「**テーマ5：森ハブ・プラットフォーム構築**」についてもご意見をいただく
- 各回の報告事項、議題については事前に林野庁とのすり合わせのうえ、決定する
- 必要に応じ、有識者へのヒアリング等を実施し、成果物へ反映する

会議日程・場所・開催方法

- 専門委員会は**今年度中に3回開催を予定する**
- 委員会は、原則対面での開催（東京都内にあるトーマツ会議室の利用）を想定し、新型コロナウイルス等の影響をふまえ、適宜オンラインの活用も検討しながら実施する

今年度の専門家委員会では主に森ハブ支援体制構築やプラットフォーム構築等に関してご助言をいただくことで、専門的な知見を反映した事業推進を目指します

専門委員会の進め方

今回の対象範囲

	【第1回委員会】 年度実施方針の確認・検討	【第2回委員会】 実施状況の報告	【第3回委員会】 次年度事業内容の検討
ゴール	今年度の実施方針について大枠の了承を得るとともに、各テーマの対応内容について確認・助言をいただく	事業の実施状況を報告し、確認・助言をいただく	今年度事業の実施結果について確認・助言をいただく、次年度以降の事業方針について検討する
▼	▼	▼	▼
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 年間の実施方針の確認 テーマ1：技術リストのアップデート方針の確認 テーマ4：森ハブ支援体制構築に向けた対応方針の確認、森ハブチェックリスト作成方針の確認 テーマ5：森ハブ・プラットフォーム構築に関する確認 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施状況の報告（主にテーマ4、テーマ5対象） テーマ4：森ハブ支援体制構築実施状況、森ハブチェックリストの作成状況の報告 テーマ5：森ハブ・プラットフォームの構築・運営状況に関する報告、キックオフイベント企画案の報告 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施結果の報告 テーマ1：技術リスト更新版の確認 テーマ4：森ハブ支援体制構築実施状況の報告、森ハブチェックリストの確認 テーマ5：森ハブ・プラットフォームの運営状況に関する報告 次年度以降の事業方針の検討 年度末のシンポジウムに関する検討
留意事項	✓ 森ハブ自体の将来的な自走化に向けたロードマップや将来像の検討などの方向性についても助言いただく	✓ 年度途中の実施状況についてご報告し、年度末に向けてご助言をいただく	✓ 年度事業の結果を取りまとめ、次年度事業方針の了承を得る
日程	7月	10月 (オンラインでの実施)	1月